

コンテンツの価値を高めるコア技術

Core Technologies to Enhance Content Value



河田 勉
KAWADA Tsutomu

インターネットの普及は、オフィスでの仕事や、学習、趣味、娯楽までも新しい生活スタイルを生み出しました。日本においては、1999年2月に世界に先駆けて登場したiモード^(注)に代表される携帯電話でのインターネットサービスが爆発的に普及しました。

iバリュー クリエーション社は、モバイル時代のインターネットサービスをより多くの人々に楽しく利用していただく目的で、2000年4月に設立されました。ここでは、“駅前探険倶楽部TM”に代表されるサービスを提供しています。このサービスはパソコンをはじめ、あらゆる携帯電話、PDA(携帯情報端末)に均質なサービスを自動的に提供できることを可能にする、当社独自のプラットフォーム技術の上に構築されています。

インターネットのサービスが有用かどうかは、そのコンテンツそのものの価値が大きくかわります。インターネットの優れた点は、Webに代表される優れた双方向インタフェースと優れた端末の機能の発揮で、より幅の広い表現を可能にすることです。

この特集では、駅前探険倶楽部などで開発された、乗り換えエンジンや地図エンジンのコア技術を紹介しています。これらのエンジンは時刻表や市販の地図というコンテンツを、ソフトウェア技術を利用したダイナミックなインタフェースで新しい使い方を提供した点に特長があります。

自然言語を扱う技術を応用したフィルタリングエンジンは、文書の形のコンテンツやWebページコンテンツから、自分の関心のある部分だけを抽出する機能が商品化されています。

2001年は、モバイルの世界で第3世代のサービスが開始され、動画コンテンツの提供が可能となりました。当社は、動画のコンテンツに対してもインターネットの新技术を開発し、より楽しいサービスをお届けすることに努めてまいります。

(注) (株)エヌ・ティ・ティ・ドコモグループの携帯電話による情報通信サービス。